

住江織物株式会社

Suminoe Textile Co., Ltd.

証券コード：3501

Suminoe Report



第129期 中間報告書
2017年6月1日▶2017年11月30日

Contents

1	ごあいさつ
1~4	事業の概況
5~6	連結財務諸表
7~8	トピックス
9~10	企業データ
10	株式関連情報



ごあいさつ

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび当社第129期上半期（2017年6月1日から2017年11月30日まで）の決算を終えましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

2018年2月

取締役会長兼社長 吉川一三



事業の概況

■ 業績のご報告

当第2四半期におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境が堅調に推移しましたが、賃金の伸び悩みから個人消費は緩やかな回復に留まりました。海外においては、米国に続き、欧州経済が回復傾向となったものの、米国の政策運営の不確実性に加え、地政学的リスクの高まりがみられました。

このようななか、第5次中期3ヵ年経営計画「2020」の初年度である当期の第2四半期における連結業績は、売上高491億9千5百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益13億3千2百万円（同12億5千2百万円増）、経常利益15億1千4百万円（同672.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億7千2百万円（同8億4千9百万円増）となりました。

■ 事業セグメントの概況

● インテリア事業

業務用カーペットでは、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」の海外輸出がやや伸び悩みました。また、国内市場では、オフィスビルや商業施設、ホテル向けの新築およびリニューアル案件の受注に注力したものの、大型案件が少なく、売上は前年同期を下回りました。カーテンでは、「mode S®（モードエス）Vol.8」が好調に推移したものの、医療・福祉・教育施設向けカーテン「Face」は案件が少なかったことから伸び悩み、売上は前年同期を下回りました。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットでは、消費者の節約志向が依然として続いており、売上は前年同期を下回りました。

た。壁紙では、「ルノンフレッシュプレミアム」、量産タイプの「ルノン・マークⅡ」がともに堅調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

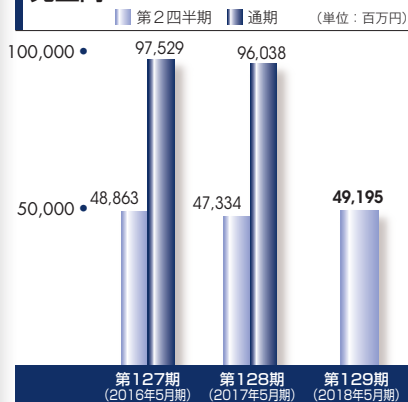
以上の結果、インテリア事業では、売上高170億2千7百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益1億2千4百万円（同52.7%減）となりました。

● 自動車・車両内装事業

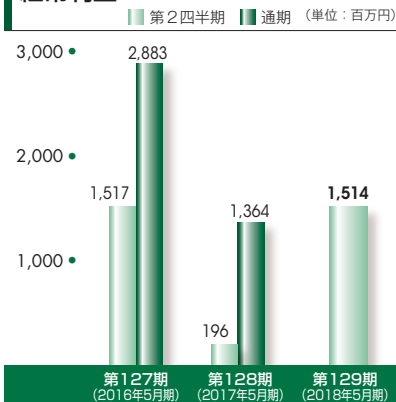
自動車関連では、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。国内では、自動車販売が市場全体として堅調に推移し、売上が順調に伸び、特に新規受注した車種や、シートファブリック事業の新商材が好調となりました。また、高級敷物の丹後緞通を

業績の推移（連結）

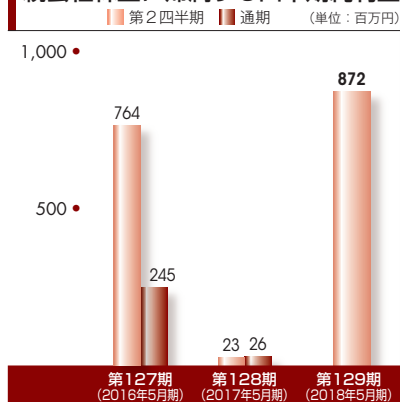
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



■ 過年度決算訂正について
本報告書に記載の業績情報はすべて過年度決算訂正が反映されております。

■ 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定
第127期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第127期第2四半期の数値は、暫定的な会計処理の確定の内容が反映されております。

使用した商材を新規受注したマット事業も売上を伸ばした結果、国内全体で増収となりました。海外では、引き続き米国子会社Suminoe Textile of America Corporationが収支改善を進める一方、中国とタイでは、日系自動車メーカーが販売台数を好調に伸ばし、国内同様にシートファブリック事業が好調となった結果、売上は前年同期を上回りました。

車両関連では、鉄道向けは、新規の大型案件がなかったものの、新車案件やリニューアル改造工事の継続受注と床表示フィルムの新規受注により、売上は前年同期並みに推移しました。バス向けは、大型バスのモデルチェンジ前の駆け込み需要の反動や、インバウンド向け需要の一巡から生産が落ち込み、売上は前年同期をやや下回りました。車両関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期並みとなりました。

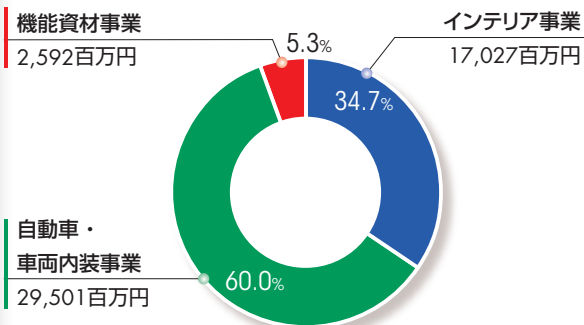
以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高295億1百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益16億6千9百万円（同10.5%増）となりました。

● 機能資材事業

ホットカーペットは、販売数量を伸ばしたものの商品構成が変わり、減収減益となりました。消臭・フィルター関連は、空気清浄機および暖房機向け消臭フィルター、パッケージをリニューアルした家庭用脱臭・消臭剤Tispaシリーズ「香りでごまかさない 本当の消臭」が好調に推移し、増収増益となりました。浴室向け床材は、堅調に推移し、売上、営業利益ともに前年同期並みとなりました。土木用資材、航空機向けカーペットは、好調に推移し増収増益となりました。

以上の結果、2016年12月末に中超住江 デバイス・テクノロジー株式会社を連結の範囲から除外した影響もあり、売上高25億9千2百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益2億4千2百万円（同54.7%増）となりました。

事業セグメント売上高



■ 配当について

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施いたします。この基本方針のもと、中間配当は3円50銭、期末配当は35円を予定しております。

※当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、期末配当は35円となっております。

■ 2018年5月期見通しについて

当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、2017年7月14日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

なお、2018年5月期の計画は、売上高975億円、営業利益28億円、経常利益29億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円としております。

■ 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

● 第5次中期3ヵ年経営計画「2020」

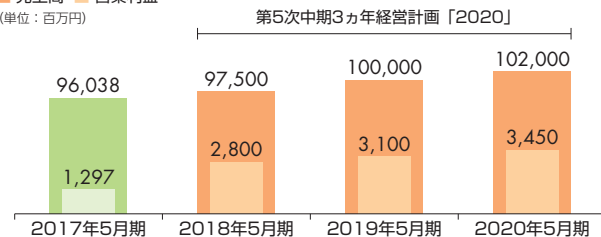
2017年6月にスタートした第5次中期3ヵ年経営計画「2020」では、「企業ガバナンスの再構築」と「事業の成長」という2つのテーマのもと、諸施策に取り組んでおります。

○ テーマ

- 企業ガバナンスの再構築
- 事業の成長

○ 連結数値目標

■ 売上高 ■ 営業利益
(単位：百万円)



(単位：百万円)

	第5次中期3ヵ年経営計画「2020」			
	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期
売上高	96,038	97,500	100,000	102,000
前期比	98.5%	101.5%	102.6%	102.0%
営業利益	1,297	2,800	3,100	3,450
営業利益率	1.4%	2.9%	3.1%	3.4%
経常利益	1,364	2,950	3,350	3,750
親会社株主に帰属する当期純利益	26	1,500	1,900	2,200
ROE	0.1%	4.5%	5.5%	6.0%

● 企業ガバナンスの再構築に向けての取り組み

1. 歩き回る経営

経営層が各現場に出向き、社員と直接的なコミュニケーションを図ることで、経営方針やメッセージを浸透させると同時に、現場の問題点の共有やその解決に向けた取り組みを行っております。

2. コンプライアンス研修

コンプライアンス意識の再醸成を目的とし、役員や幹部社員を対象とした研修や、社員へのワークショップを開催しております。

3. 3つのプロジェクト

社内委員会やプロジェクトなど様々な角度から、ガバナンス強化およびコンプライアンス徹底に向け、取り組んでおります。

① 中堅社員チーム

「部門を超えた人材交流の活性化と問題解決力の向上」をテーマに、実務を担う中堅社員による現場のリスクの洗い出し、解決策の模索、検討を進めております。

② 業務負荷改善チーム

業務負荷改善のための実態調査と改善計画の策定を進めております。

③ 情報基盤整備チーム

業務の生産性向上、グローバル展開を支えるインフラ整備、内部統制の強化を図るため、基幹システムの再構築を行っております。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2017年11月30日現在)	前 期 (2017年5月31日現在)	科 目	当第2四半期 (2017年11月30日現在)	前 期 (2017年5月31日現在)
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	52,836	50,934	流動負債	36,813	36,218
現金及び預金	7,208	7,050	支払手形及び買掛金	14,843	15,381
受取手形及び売掛金	20,063	17,866	電子記録債務	4,388	3,854
電子記録債権	5,477	4,719	短期借入金	12,999	12,411
たな卸資産	16,547	16,545	その他	4,581	4,571
その他	3,562	4,776	固定負債	16,555	16,636
貸倒引当金	△22	△23	社債	500	500
固定資産	39,605	39,319	長期借入金	5,508	6,035
有形固定資産	27,448	27,842	再評価に係る繰延税金負債	3,761	3,761
建物及び構築物	4,822	4,887	退職給付に係る負債	4,109	4,048
機械装置及び運搬具	3,778	3,976	その他	2,675	2,292
土地	17,609	17,604	負債合計	53,368	52,855
その他	1,237	1,375	【純資産の部】		
無形固定資産	1,028	1,047	株主資本	22,718	22,111
投資その他の資産	11,127	10,429	資本金	9,554	9,554
投資有価証券	9,780	9,037	資本剰余金	2,652	2,652
その他	1,493	1,535	利益剰余金	10,875	10,266
貸倒引当金	△146	△143	自己株式	△363	△362
資産合計	92,441	90,254	その他の包括利益累計額	11,998	11,174
			その他有価証券評価差額金	3,744	3,035
			繰延ヘッジ損益	△12	△9
			土地再評価差額金	7,797	7,797
			為替換算調整勘定	652	549
			退職給付に係る調整累計額	△182	△198
			非支配株主持分	4,355	4,113
			純資産合計	39,073	37,398
			負債・純資産合計	92,441	90,254

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 資産の部

資産の部につきましては、前期末に比べ21億8千7百万円増加し、924億4千1百万円となりました。

流動資産は主に受取手形及び売掛金が増加したことにより、同19億1百万円の増加となりました。

固定資産は主に保有株式の時価評価等によって投資有価証券が増加したことにより、同2億8千5百万円の増加となりました。

■ 負債の部・純資産の部

負債の部につきましては、主に短期借入金が増加したことにより、前期末に比べ5億1千2百万円増加し、533億6千8百万円となりました。

純資産の部につきましては、主に利益剰余金の増加および保有株式の株価上昇によってその他有価証券評価差額金が増加したことにより、前期末に比べ16億7千4百万円増加し、390億7千3百万円となりました。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2017年6月1日から 2017年11月30日まで)	前第2四半期 (2016年6月1日から 2016年11月30日まで)
売上高	49,195	47,334
売上原価	39,247	37,795
売上総利益	9,947	9,539
販売費及び一般管理費	8,615	9,458
営業利益	1,332	80
営業外収益	357	318
受取利息及び配当金	88	116
持分法による投資利益	24	54
不動産賃貸料	117	42
その他	128	105
営業外費用	175	203
支払利息	130	113
不動産賃貸費用	16	14
その他	29	75
経常利益	1,514	196
特別利益	670	212
特別損失	4	126
税金等調整前四半期純利益	2,180	282
法人税、住民税及び事業税	655	205
法人税等調整額	241	△224
四半期純利益	1,284	300
非支配株主に帰属する四半期純利益	411	277
親会社株主に帰属する四半期純利益	872	23

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 四半期連結損益計算書

売上高につきましては、インテリア事業および機能資材事業において減収となりましたが、自動車・車両内装事業において増収となり、前年同期比18億6千1百万円増加の491億9千5百万円となりました。

営業利益は同12億5千2百万円増加し13億3千2百万円、経常利益は同13億1千8百万円増加し15億1千4百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、同8億4千9百万円増加し8億7千2百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2017年6月1日から 2017年11月30日まで)	前第2四半期 (2016年6月1日から 2016年11月30日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	629	△1,202
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	234	△538
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△752	△969
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	47	△108
V. 現金及び現金同等物の増減額	158	△2,819
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	6,930	7,810
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	7,088	4,991

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益21億8千万円、減価償却費8億4千6百万円、法人税等の還付額4億3百万円等に対し、売上債権の増加額28億1千1百万円等により、6億2千9百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却及び償還による収入9億1千9百万円等に対し、有形固定資産の取得による支出6億1千7百万円等により、2億3千4百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額6億1千1百万円等に対し、長期借入金の返済による支出5億8千5百万円、リース債務の返済による支出3億2千5百万円、配当金の支払額2億6千4百万円等により、7億5千2百万円の支出となりました。

高機能・高品質硬質床材「SUMINOE BERRY ALLOC® PURE LVT」新発売

2017年9月15日発売の「SUMINOE BERRY ALLOC® PURE LVT」は、3Dプリント技術によるリアルでナチュラルな質感、0.55mm厚の耐摩耗層による極めて高い耐久性と、ワックスを必要としないイーゼーメンテナンスを兼ね備えた高機能床材です。

デザインは木目調および石目調をテーマとして、長方形と正方形のサイズを揃えています。

特許を取得している四辺クリック（接合部）を備えた接合置き敷きタイプ「PURE CLICK」と、接着剤を用いて施工するタイプ「PURE GlueDown」の2タイプ合計104アイテムで構成されています。



東京都交通局 燃料電池バスに当社のインクジェットプリントモケットシート地が採用

東京都交通局が2017年より運行を開始した、市販車では日本で初めての燃料電池バス（通称 オリンピックバス）の座席に当社のインクジェットプリントモケットシート地が採用されました。燃料電池バスはトヨタ自動車「MIRAI」の水素と酸素を利用した燃料電池システムを採用し、走行時にCO₂を排出せず、災害による停電時には外部電源車としての役割を果たします。当シート地のデザインは、燃料電池バスにふさわしい「水」をテーマとしています。



トヨタ「レクサス LS」に当社のカーマットが採用

当社のカーマットが、トヨタ自動車の高級ブランド「レクサス」のフラッグシップセダンLSに採用されました。当マットは最高品質の高級敷物「丹後織通」を使用し、機械製造では実現することが難しい細部まで高密度に織り上げています。ハンドメイドならではの品質で、最上級セダンに相応しい車内空間を演出しています。



— 会食のお供に — 「柿ダノミ」新発売

近畿大学農学部との共同研究から生まれたサプリメント「柿ダノミ」を新発売しました。奈良県産柿から特許製法で抽出した高純度の柿ポリフェノールを含有したサプリメントです。

ヒト臨床試験にて実施した自覚アンケートの結果、「柿ダノミ」を摂取することで、だるさや胃のむかつきといった悪酔いの抑制あるいは軽減効果が望めることを確認しています。

ウコン、オルニチンに代わる柿ポリフェノールを使った当商品は、日本経済新聞などにも掲載され、多くの反響をいただいています。オンラインショップ「スミノエバイオテック® 健康セレクトショップ」や、東京日本橋にある「奈良まほろば館」などで販売していますので、ぜひお試しください。



10回分 1,500円 (税抜)

お求めは [柿ダノミ](#) [検索](#)

企業データ

■ 会社の概要 (2017年11月30日現在)

本 社

大阪市中央区南船場3-11-20

大阪支店

大阪市中央区南船場3-11-20

東京支店

東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル

奈良事業所

奈良県生駒郡安堵町大字窪田634-1

滋賀事業所

滋賀県甲賀市甲賀町神保53-5

大阪事業所

大阪府松原市大堀1-5-8

京都美術工芸所

京都市上京区新町通今出川上る元新在家町167-2

合資会社創立	1913年12月25日
株式会社設立	1930年12月26日
資 本 金	9,554,173,950円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
従 業 員 数	254名 (連結 2,833名)

■ 主要な事業内容

- <インテリア事業>…カーペット、カーテン、壁紙、各種床材 等
- <自動車・車両内装事業>…自動車・バス・鉄道車両・航空機等の内装材
- <機能資材事業>…ホットカーペット、消臭関連資材 等

■ 主要なグループ企業 (2017年11月30日現在)

○ 国 内

株式会社スミノエ

インテリア製品の企画・販売

ルノン株式会社

壁紙を中心としたインテリア製品の企画・販売

住江物流株式会社

インテリア製品の保管・加工

スミノエ テイジン テクノ株式会社

自動車用内装材の製造・販売

住江テクノ株式会社

カーペットの製造・加工
スミトロン糸の製造、不織布の加工

○ 海 外

Suminoe Textile of America Corporation

米国
自動車用内装材の製造・販売

Bondtex, Inc.

米国
自動車用内装材の製造・販売

Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.

メキシコ
自動車用内装材の製造・販売

住江互太(広州)汽車纖維製品有限公司

中国
自動車用内装材の製造・販売

蘇州住江小出汽車用品有限公司

中国
自動車用内装用品の開発・製造

住江織物商貿(上海)有限公司

中国
自動車・車両用内装材および部品の企画開発・製造管理・卸売業・輸出業務

蘇州住江織物有限公司

中国
ホットカーペットの製造

T.C.H.Suminoe Co., Ltd.

タイ
自動車用内装材の製造・販売

PT.Suminoe Surya Techno

インドネシア
自動車用内装用品の製造・販売

PT.Sinar Suminoe Indonesia

インドネシア
自動車用内装材の開発・販売

Suminoe Teijin Techno Krishna India Private Limited

インド
自動車用内装材の製造・販売

株式関連情報

役員 (2017年11月30日現在)

取締役および監査役

〔代表取締役〕	会長兼社長	吉川一三	川原義明
〔代表取締役〕	○専務取締役	谷谷飯	田村善均
〔代表取締役〕	○専務取締役	飯田三	村善英
	○取締役	沢井	井善克
	○取締役	永田	田鉄平
	○取締役	永田	田鉄平
	社外取締役	清水	水春生
	社外取締役	横田	田隆司
	常勤監査役	小瀧	邦彦
	社外監査役	世山	下秀直
	社外監査役	山	下秀直

執行役員

上席執行役員	渡辺	糾
上席執行役員	丸山	敏朗
上席執行役員	松山	光伸
上席執行役員	新實	啓悦
執行役員	岩崎	裕二
執行役員	木村	栄一郎
執行役員	松山	孝一
執行役員	駒形	淳一
執行役員	薄木	宏明

○の取締役は上席執行役員を兼務いたします。

株式の状況 (2017年11月30日現在)

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式総数	76,821,626株
株主数	5,234名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社高島屋	9,249	12.26
日本生命保険相互会社	5,018	6.65
野村信託銀行株式会社 (信託口2052197)	3,948	5.23
丸紅株式会社	3,665	4.86
株式会社みずほ銀行	2,345	3.11
トヨタ自動車株式会社	2,240	2.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	1,788	2.37
住江織物共栄会	1,782	2.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,742	2.31
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,551	2.06

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.持株比率は自己株式(1,387,481株)を控除して計算しております。

▽本報告書、株式に関するお問い合わせ先

住江織物株式会社 本社総務部
TEL:06-6251-6801 FAX:06-6251-0862

株主メモ

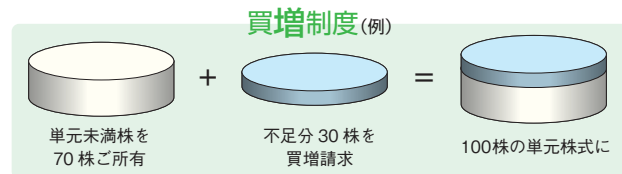
事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで	公告方法	電子公告 (当社ホームページ http://suminoe.jp/ir/ に掲載) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
定時株主総会	毎年8月	単元株式数	100株 当社は、2017年12月1日をもって当社普通株式について、10株を1株に併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。 なお、この株式併合および単元株式数変更に伴う株主のみなさまによる特段のお手続きの必要はございません。
基準日			
定時株主総会	毎年5月31日		
期末配当金	毎年5月31日		
中間配当金	毎年11月30日		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 フナネットブース (みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買増・買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株式事務に関するご案内

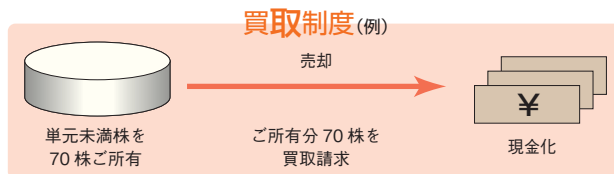
1. 単元未満株式の買増・買取制度のご案内

当社では、単元株式（100株）に不足する株式を買い増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」のほか、単元株式（100株）に満たない株式の買取を行う「単元未満株式買取制度」を導入しておりますのでご活用ください。
お手続きにつきましては、上記のお問い合わせ先フリーダイヤルにお申し出ください。



2. 特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。



※インキは環境負荷の小さな植物油インキを使用しています。